



Chapter 1 入試

聖学院大学にはAO入試、推薦入試、自己推薦入試、一般入試の主に4つの異なった方式の入試があります。それぞれ受験生の持つ可能性を違う側面から見ていく入試で、それが学生の資質を伸ばしていくという聖学院大学の教育の特徴を表すものとなっています。

聖学院大学では14年前(2000年)からどのような学生に入ってほしいかを示したアドミッション・ポリシーを学部・学科ごとに明確に示しています。それぞれの特徴を理解して自分にあった学部・学科そして入試方式を見つけ出ししていくことから大学への一歩が始まります。

聖学院大学の教育方針（ポリシー）

聖学院大学は、開学の当初より「聖学院大学の理念10カ条*」（以下「理念」という）を擁し、プロテスタント・キリスト教の精神に基づく人格教育を行ってきている。それは、神によって創造されたかけがえのない存在である学生を愛し、その魂の健全な成長を配慮しつつ、リベラルアーツを基盤とする専門教育をとおして各人の個性を引き出すことである。それは、コミュニケーション力や判断力などの業務遂行能力を高め、現代の市民社会の各分野でその担い手として貢献できる人物の育成にほかならない。

現在各大学は日本社会から「大学教育の質保証」を問われているが、本学はこの理念に基づく教育方針の貫徹をもってその応えとしたい。具体的には、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションに分けて以下のとおり「聖学院大学の教育方針」を宣言する。また各学部・学科・研究科ごとの固有の方針も掲げる。

※P.3参照

ディプロマ・ポリシー

聖学院大学は、どの学部学科であれ、「理念」に即した精神性と価値観および総合的判断力を備え、かつ幅広い教養と専門的知識を身につけることにより、自由と人権を重んじ、隣人愛と使命感をもって人類の平和と福祉の実現のために社会の各分野で貢献できる人およびさらに大学院での専門研究へ発展させることのできる人の育成を目指し、指定の卒業履修単位を獲得した学生にそれぞれのディプロマを授与する。

カリキュラム・ポリシー

聖学院大学は、上記ディプロマを授与されるにふさわしい学生の育成のため、礼拝と授業と大学行事をとおして行われるキリスト教人格教育を中心としながら、一方では各学部学科の特性にあった基礎知識の充実と教養教育を深め、同時に各学部学科の専門教育を行う。

キリスト教人格教育とは、何よりも神によって創造されたかけがえのない存在である学生一人ひとりを愛し、その人格を重んじ、その魂の健全な成長を配慮しつつ、聖学院教育憲章に謳われ

ている「Only one for others」の精神をもって、人間一人ひとりの自由と人権を守り育成する教育である。そのために、少人数教育を重んじ、人と人との人格的な触れ合いを大事にしていく。

またこの人格教育を中心にして、基礎教育の充実とともに幅広い教養を身につけるためのリベラルアーツ教育を行っていく。これは、学生一人ひとりが、自分の置かれた状況を的確に判断し、自分にとって他者にとってもより良い生き方ができる道を模索し、選び取り、行動できる、そうした主体性を確立する教育である。そして、こうした土台の上に、各学部・学科の専門教育が行われ、そのためのカリキュラム体系が形成される。

アドミッション・ポリシー

聖学院大学は、上記カリキュラムに即した教育を受けるにふさわしい学生を選抜、あるいは見出すため、「理念」に共感し、神から与えられた固有の賜物を人間形成的に、学問的に本学で開花させたいと願う志望者を種々の選抜方法により、受け入れ、あるいは見出して行く。

聖学院大学はセンター試験を導入していません。

本学がセンター試験を導入しない理由

聖学院大学は独立行政法人大学入試センターが実施する「センター試験」を利用した入試を導入していません。全国の大学の約9割が何らかの形でセンター試験を利用している中で、志願者増につながり、その結果偏差値アップにつながるメリットがあるのになぜ参加しないかと問われることが多くあります。本学は、ポリシーをもって「センター試験」利用入試を導入していません。それは以下の理由によります。

まず第一の理由として、聖学院大学はキリスト教大学ですので教職員が日曜礼拝を守るという立場から日曜日に入試を行うことを開学以来

してきませんでした。センター試験を導入することは、大学を試験会場として提供するだけでなく教職員が試験監督として働く仕組みとなりますので、本学のアイデンティティであるキリスト教学校のよき伝統と相反することとなります。現在の「センター試験」の実施方法では本学として参加は難しいと判断しているわけです。

次にセンター試験の内容についてです。考える力よりも暗記にたよる問題が多く、受験のテクニックに流れがちです。本学ではできるだけ丁寧に見て、本学に合う学生を入学させたいと考えています。学力試験を課す本学の一般

入試においても、外部評価を入れるなど「入試問題の良問化」に努めています。

最後に、大学の序列化の問題です。センター受験後の自己採点を予備校に委ね、これによって大学の入学難易度が決められている今のセンター試験の現状には疑問を感じざるを得ません。

点数によるのではなく、むしろ点数化できない個性や人間性を元に本学の個性に合う学生に入学してもらいたい、そのためには、正しい評価基準を持った新しい入試制度を作ることこそ大切であると考えています。

各学科のアドミッション・ポリシー

聖学院大学の教育方針(ポリシー)は各学部・学科にも、それぞれ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーと3つありますが、ここでは、各学科のアドミッション・ポリシーを紹介します。受験の際にはよく読んで参考にしてください。他のポリシーは、聖学院大学のホームページに掲載しています。

政治経済学部	政治経済学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会のさまざまな現場で通用する幅広い知識や教養を身につけ、経済活動、公務、地域活動などを通じて、積極的に社会的な役割を担い、貢献したい人を求める。 ② 経済のしくみや企業経営、国際平和、地域の活性化、情報社会に関心・興味がある人を求める。
	欧米文化学科	<ul style="list-style-type: none"> ① ヨーロッパやアメリカの文化に触れることで、自分の視野や考え方、生き方、行動力を広げたい人を求める。さらに実社会で必要になる理解力、考察力、文章表現力、コミュニケーション力を伸ばして、国内外で活躍したい人を歓迎する。 ② 海外留学をしたい人、将来海外で活躍したい人、英語を用いて働きたい人、英語が好きな人や伸ばしたい人、欧米の諸言語を学びたい人など、留学生とともにコミュニケーション力を活躍の力にしたい人を求める。 ③ キリスト教を基盤とした考え方を学ぶことをとおして、「よく生きる」ということをじっくり考え、他者に関わろうとする人を求める。
人文学部	日本文化学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 知的好奇心と柔軟な感性を大事にしながら、学習および文化的活動に自主的・意欲的に取り組むことのできる人を歓迎する。 ② 日本の歴史・文学・思想・文化のさまざまな領域について、高校までの学習を土台として、さらに幅広く深く学びたいと思っている人を求める。 ③ 日本の文化を多面的に学ぶことで、グローバル化する世界の中での自己の位置を知り、かつ他者に対する態度を正しく身につけたいと考えている人を受け入れる。
	児童学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもの人格に真向かい、個々の状況に共感して細やかに理解し、それぞれの発達に応じた関わりや教育的配慮をしつつ、原点から人間を知ろうと努力する学生を求める。 ② 日頃から身のまわりのことに関心をもって、人や物との関わり合いを大切に、仲間と協同して活動し、より良い人間関係を築こうという意欲をもち、教育や保育に携わることを希望する学生を求める。 ③ 他者の立場に立って自身の考えや行動を組み立て、他者に伝わるようにそれを表わそうとし、自己の主張にとらわれず、他者の声に耳を傾けて自らの人格に磨きをかけることをもなう学生を求める。
人間福祉学部	こども心理学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 喜びや怒り、苦しみや悲しみなど、その時々で状況で変化するこどもの「こころ」に共感しながら、なぜそのような「こころ」が生じるのかについて強い関心と興味を抱く学生を求める。 ② 人と社会との関わりに関心があり、こどもと自分、友だちと自分、大人と自分、多様な人々と関わるのが楽しいと感じる。そして、今よりさらに良い人間関係を築くことに意欲が持てる学生を求める。 ③ こどもが置かれている状況は、常に変化し続けている。生活環境や時代の変化、アジアとヨーロッパなどの文化の違い、経済状況の変化などが、こどもの人格形成にどんな影響を及ぼすのかなどを考えることに深く興味を抱くことができる。その上で、具体的に生じているこどもを巡る出来事への対応に力をつけたいと願う学生を求める。
	人間福祉学科	<ul style="list-style-type: none"> ① 「神を仰ぎ、人に仕う」という建学の精神を基盤にして、「福祉のこころ(困難を抱えた人々への献身と平等志向)」をもち、人間福祉と福祉社会の実現に寄与することを希求し実践する人を求める。 ② 高等学校と大学の連携による一貫した福祉スペシャリスト育成をめざすため、これまでに何らかの福祉および関連の勉強をしてきた学生に、より高度な専門職への道をたどることを期待する。 ③ 質の高い社会福祉や実践のあり方をともに探究できる意欲ある学生(自らに課題を有する学生を含め)を求める。 ④ 国際(アジア型)社会福祉のあり方を探求し、その担い手となりうる人を求める。

2014 年度入試結果

全入試結果 ※特別入試(社会人・帰国生・留学生)・秋学期入試を含み、再入学・編入学は含まれておりません。

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	160	203	183	177	127	50	31	1.0	121	22
人文	欧米文化	80	97	91	88	66	22	47	1.0	57	34
	日本文化	80	143	137	129	114	15	64	1.1	90	49
人間福祉	児童	100	204	195	157	147	10	84	1.2	102	59
	こども心理	80	121	111	106	97	9	55	1.0	66	32
	人間福祉	80	130	119	114	104	10	49	1.0	83	35
合計		580	898	836	771	655	116	330	1.1	519	231

AO入試[レポート型][講義型][英語特別] (審査日 [講義型] ①2013年8月24日 ②9月21日 ③10月19日 ④12月21日 ⑤2014年1月25日 [英語特別] 12月21日)

学部	学科	募集定員	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	37	-	-	33	31	2	5	1.1	32	5
人文	欧米文化	30	23	-	-	22	21	1	11	1.0	21	11
	日本文化	30	32	-	-	26	26	0	16	1.2	25	15
人間福祉	児童	40	53	-	-	36	34	2	21	1.5	34	19
	こども心理	30	29	-	-	24	22	2	14	1.2	23	13
	人間福祉	30	31	-	-	28	27	1	13	1.1	27	12
合計		210	205	-	-	169	161	8	80	1.2	162	75

※児童学科は(レポート型)の募集はなし。※児童学科・こども心理学科・人間福祉学科は(英語特別)の募集はなし。

推薦入試結果 (公募推薦・審査日 ①2013年11月9日 ②12月21日)

※公募・指定校推薦・クリスチャン・キリスト教関係者推薦を含みます

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	55	28	27	27	4	1.0	27	4
人文	欧米文化	25	17	17	17	11	1.0	17	11
	日本文化	25	39	39	39	22	1.0	39	22
人間福祉	児童	30	44	44	43	26	1.0	43	26
	こども心理	25	26	26	26	12	1.0	25	11
	人間福祉	25	35	35	35	11	1.0	35	11
合計		185	189	188	187	86	1.0	186	85

自己推薦入試・スポーツ推薦入試結果 (自己推薦審査日 2014年1月18日)(スポーツ推薦審査日 ①2013年9月21日 ②12月21日 ③2014年1月18日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	5	7	6	6	6	0	2	1.0	6	2
人文	欧米文化	5	1	1	1	0	1	0	1.0	1	0
	日本文化	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	人間福祉	5	1	1	1	1	0	1	1.0	1	1
合計		25	9	8	8	7	1	3	1.0	8	3

※児童学科は(自己推薦・スポーツ推薦)の募集はなし。

一般入試A日程結果 (試験日 2014年2月4日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	42	41	41	38	3	4	177	83	1.0	7	0
人文	欧米文化	20	21	21	19	15	4	9	183	98	1.1	5	3
	日本文化	20	34	33	33	28	5	11	168	87	1.0	14	4
人間福祉	児童	30	55	52	43	37	6	19	176	117	1.2	9	5
	こども心理	20	28	27	27	24	3	15	185	87	1.0	7	5
	人間福祉	20	30	28	28	25	3	11	164	76	1.0	9	4
合計		160	210	202	191	167	24	69	-	-	1.1	51	21

一般入試B日程結果 (試験日 2014年2月14日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	18	13	13	11	2	1	148	82	1.0	5	0
人文	欧米文化	20	19	14	14	12	2	6	167	82	1.0	2	1
	日本文化	20	19	16	16	13	3	6	179	92	1.0	4	2
人間福祉	児童	30	32	28	16	15	1	8	179	114	1.8	6	3
	こども心理	20	26	20	19	18	1	9	158	82	1.1	7	2
	人間福祉	20	14	10	10	10	0	5	132	101	1.0	2	1
合計		160	128	101	88	79	9	35	-	-	1.1	26	9

一般入試C日程結果 (試験日 2014年3月3日) ※点数は200点満点

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	16	14	14	10	4	4	143	91	1.0	5	0
人文	欧米文化	20	3	3	3	1	2	1	161	95	1.0	1	0
	日本文化	20	7	7	6	5	1	4	143	104	1.2	3	3
人間福祉	児童	30	15	14	14	14	0	7	175	75	1.0	7	3
	こども心理	20	7	7	6	6	0	4	129	107	1.2	0	0
	人間福祉	20	6	4	3	3	0	3	129	110	1.3	1	1
合計		160	54	49	46	39	7	23	-	-	1.1	17	7

一般入試D日程結果 (試験日 2014年3月12日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	5	3	3	1	2	0	-	-	1.0	3	0
人文	欧米文化	20	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0
	日本文化	20	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0
人間福祉	児童	30	5	5	5	5	0	3	-	-	1.0	3	3
	こども心理	20	1	1	1	1	0	0	-	-	1.0	1	0
	人間福祉	20	5	3	3	2	1	2	-	-	1.0	3	2
合計		160	16	12	12	9	3	5	-	-	1.0	10	5

※審査方法が小論文・面接のため、最高点/合格最低点は掲載していません。

一般入試E日程結果 (試験日 2014年3月22日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (現役)	合格者数 (既卒等)	合格者数 (女子)	最高点	合格 最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	50	9	6	6	3	3	2	-	-	1.0	5	2
人文	欧米文化	20	2	2	2	0	2	1	-	-	1.0	0	0
	日本文化	20	5	4	4	3	1	2	-	-	1.0	1	0
人間福祉	児童	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	20	1	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0
	人間福祉	20	2	2	2	2	0	0	-	-	1.0	2	0
合計		160	19	14	14	8	6	5	-	-	1.0	8	2

※審査方法が小論文・面接のため、最高点/合格最低点は掲載していません。

※一般入試E日程は児童学科の募集はなし。

※一般入試全体の募集定員は、政治経済学科は50名、児童学科は30名、その他の学科は各20名でした。

学科が求める学生像に従い、意欲や将来の志望、人間性などを総合的に評価する

AO(アドミッションズ・オフィス)入試

- Point. 1 点数化できない意欲や将来への展望、人間性を面談と課題レポートや講義のノートテーキングを通して審査します。
- Point. 2 課題に真剣に取り組む、その中から問題を発見し、その解決に努力する前向きな姿勢を評価します。
- Point. 3 「レポート型(課題設定・テーマ選択)」「講義型」「英語特別」の三つの方式から選べます。

選考のポイント

本学ではAO入試を1999年に全国に先駆けて早い段階で導入しました。今年度で16年が経過するわけですが、その間に毎年、審査方法を何度も見直し、高校にもAO入試の考え方や本学が求める学生像を伝える努力してきましたので、「聖学院大学のAO入試」として理解されるようになってきました。一人ひとり大切にすることという本学の建学の精神がよく表れた入試です。エントリーしてきた受験生にしっかりと向き合うことを行っていますので、みなさんも真剣に取り組んでください。

「レポート型(課題設定)」では、オープンキャンパスなどでまず「事前相談」が行われます。「事前相談」でエントリーが認められなければ「レポート型(課題選択)」でのエントリーはできません。エントリーを希望される方は早めにオープンキャンパスなどに参加して必ず希望される学科の教員に「事前相談」をしてください。(なお児童学科は「レポート型」での募集はありません。)

2015年度入試より「レポート型」は課題設定とテーマ選択の2種類になります。詳細、募集学科については2015年度入試要項でご確認ください。

「講義型」は、大学での学びの基本となる「ノートテーキング」で講義に臨む姿勢や意欲、まとめる力などを見ていくものです。講義を聞いてノートを取り、さらにそのノートを整理して提出します。その上で面接が行われます。学科によっては「グループ面接」の形式で行われることもあります。「講義型」は「事前相談」がなくてもエントリーできますが、学科の教員との面談をおすすめします。

「講義型」でのエントリーを考えている方にはオープンキャンパスやサマースクールに参加して大学の講義がどのように行われるのかを体験しておくことをお勧めします。高校生の受験生がとまどうことがないように、講義もできるだけノートを取りやすいように工夫してあります。

両形式とも高校との連携も大事にして審査がすすめてまいりますので、困ったこと、わからないことがあったら担任の先生にも相談してみてください。

詳しくは『AO入試・スポーツ推薦入試ガイド』をご参照ください。先輩学生の体験談も掲載しております。

2015年度AO入試概要

募集定員

■政治経済学部 ・政治経済学科 50名	■人文学部 ・欧米文化学科 30名 ・日本文化学科 30名	■人間福祉学部 ・児童学科 *40名 ・こども心理学科 30名	・人間福祉学科 30名	*児童学科はAO入試[レポート型・英語特別]方式での募集はありません。
------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	-------------	-------------------------------------

エントリーカード(レポート型/講義型)・出願(英語特別)受付期間

入試区分	審査日	郵送受付	窓口受付	インターネット受付
レポート型	—	2014年 8月 1日(金)～2015年1月30日(金)	—	—
講義型 英語特別	I期: 8月23日(土)	2014年 8月 1日(金)～ 8月20日(水) [必着]	2014年 8月20日(水)9:00～12:00	2014年 8月20日(水) (正午)迄
	II期: 9月20日(土)	2014年 8月 1日(金)～ 9月17日(水) [必着]	2014年 9月17日(水)9:00～12:00	2014年 9月17日(水) (正午)迄
	III期: 10月18日(土)	2014年 9月 1日(月)～10月15日(水) [必着]	2014年10月15日(水)9:00～12:00	2014年10月15日(水) (正午)迄
	IV期: 12月20日(土)	2014年11月10日(月)～12月17日(水) [必着]	2014年12月17日(水)9:00～12:00	2014年12月17日(水) (正午)迄
	V期: 2015年1月24日(土)	2014年12月10日(水)～2015年1月21日(水) [必着]	2015年 1月21日(水)9:00～12:00	2015年 1月21日(水) (正午)迄

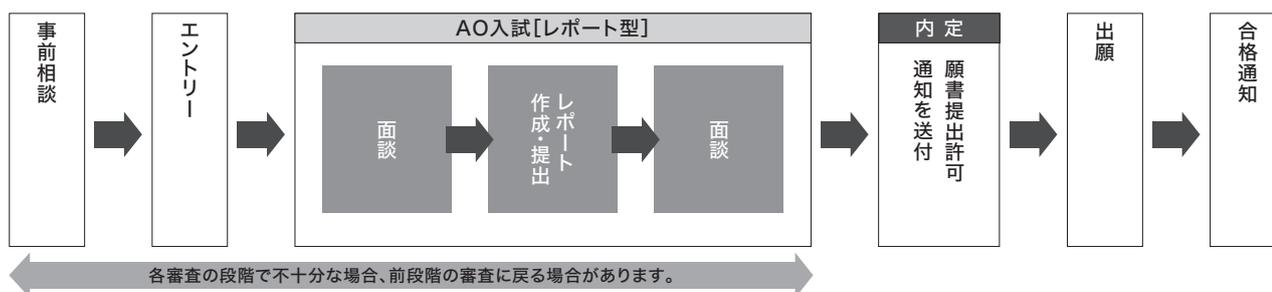
審査結果通知・内定者書類提出期間・合格発表日・手続期間

入試区分	審査結果通知日(願書出願許可書到着日)	内定者書類提出(出願)期間[必着]	合格発表日	手続期間
レポート型	「面談B」終了後 (到着時期に対応する出願期間に 願書提出)	2014年10月 6日(月)～10月 9日(木) 必着	10月11日(土)	2014年10月14日(火)～10月17日(金)
		2014年11月10日(月)～11月13日(木) 必着	11月15日(土)	2014年11月17日(月)～11月20日(木)
		2014年12月 8日(月)～12月11日(木) 必着	12月13日(土)	2014年12月15日(月)～12月19日(金)
		2015年 1月 9日(金)～ 1月15日(木) 必着	1月17日(土)	2015年 1月19日(月)～ 1月23日(金)
		2015年 2月23日(月)～ 2月26日(木) 必着	2月28日(土)	2015年 3月 2日(月)～ 3月 6日(金)
講義型 英語特別	I期: 9月 2日(火)以降 II期: 9月25日(木)以降 III期: 10月21日(火)以降 IV期: 12月23日(火・祝)以降 V期: 2015年1月27日(火)以降	I期・II期 2014年10月 6日(月)～10月 9日(木) 必着	10月11日(土)	2014年10月14日(火)～10月17日(金)
		III期 2014年11月10日(月)～11月13日(木) 必着	11月15日(土)	2014年11月17日(月)～11月20日(木)
		IV期 2015年 1月 9日(金)～ 1月15日(木) 必着	1月17日(土)	2015年 1月19日(月)～ 1月23日(金)
		V期 2015年 2月23日(月)～ 2月26日(木) 必着	2月28日(土)	2015年 3月 2日(月)～ 3月 6日(金)

*AO入試は[レポート型][講義型][英語特別]を合わせ、各学科とも定員になり次第、終了となります。

レポート型

AO入試[レポート型]の流れ



審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

面談[審査]日 面談(初回)の実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出(郵送必着)しなければなりません。面談(2回目)の実施日は、面談(初回)終了後連絡します。レポートの完成まで、面談(2回目以降)は複数回行うことがあります。

提出書類 エントリー時=エントリーカード 内定者書類提出(出願時)=入学願書(検定料含む)・調査書

※[レポート型(テーマ選択)]ではオープンキャンパス等での事前相談は必須ではありません(日本文化学科を除く)。詳細は2015年度入試要項でご確認ください。

AO入試[レポート型] 2014年度入試結果 募集定員はAOLレポート型・講義型・英語特別合計

学部	学科	募集定員	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数(現役)	合格者数(既卒等)	合格者数(女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数(女子)
政治経済	政治経済	50	5	-	-	5	3	2	0	1.0	5	0
人文	欧米文化	30	8	-	-	7	6	1	4	1.1	7	4
	日本文化	30	8	-	-	6	6	0	3	1.3	6	3
人間福祉	児童	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	30	3	-	-	1	0	1	1	3.0	1	1
	人間福祉	30	8	-	-	6	6	0	4	1.3	6	4
合計		210	32	-	-	25	21	4	12	1.3	25	12

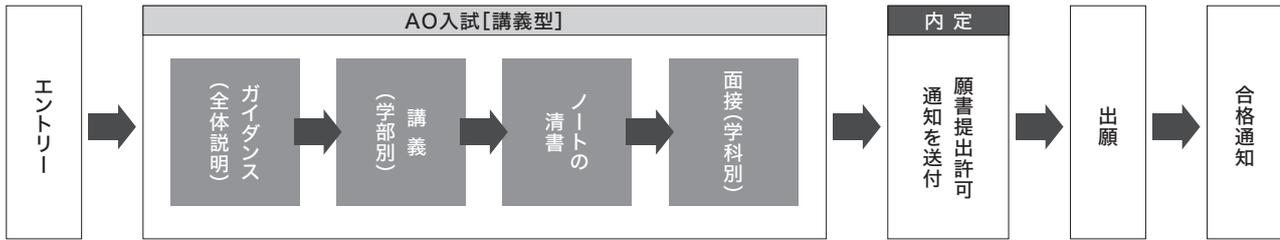
※児童学科は(レポート型)の募集はなし。

過去の合格者レポートタイトル

政治経済学部	政治経済学科	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ政治から学ぶべきこと 浦和レッズが地域活性化に与えた影響 	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド車への転換理由 上尾市の住みよいまちづくり政策について 	<ul style="list-style-type: none"> オリンピックの経済状況で得する人損する人
人文学部	欧米文化学科	<ul style="list-style-type: none"> イタリアと日本の食文化 ホラー映画の日米比較 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産ロワールの古城の歴史的背景 ヨーロッパにおける日本のポップカルチャーブーム 	<ul style="list-style-type: none"> 西洋のファッション史
	日本文化学科	<ul style="list-style-type: none"> 陽成天皇の生涯と歌 『千と千尋の神隠し』における少女の成長 	<ul style="list-style-type: none"> 「進撃の巨人」と北欧神話との関係性 くらしの中の日本のしきたり 	<ul style="list-style-type: none"> 白虎隊は何故、自刃の道を選んだのか
人間福祉学部	こども心理学科	<ul style="list-style-type: none"> 小学生いじめの動向と支援対策について 	<ul style="list-style-type: none"> 子どものトラウマケア～トラウマケアプログラムを通して～ 	<ul style="list-style-type: none"> 場面緘黙への支援
	人間福祉学科	<ul style="list-style-type: none"> 現代の思春期のこどもが抱えるこころの問題とその支援 絵を使った心理療法 	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者の暮らしやすい社会とは一弟の事例から ボーイスカウトにおけるバリア 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のレクリエーション活性化の現状と展望

講義型

AO入試【講義型】の流れ



審査方法

「講義を受ける」「ノートの清書」「面接」で構成。
講義を受け、面接時に、何をどう感じたかを質疑応答することで合否の判断をします。

【入試の流れ】

- ①ガイダンス(全体説明)=入試の流れ、受験上の注意などの説明。
- ②講義を受ける=講義を受けながら大学で用意した下書きノートにメモをとる。講義50分、質疑応答10分。
- ③ノートの清書=講義中に取った下書きノートのメモを元に、ノートを清書して提出。ノートの清書時間60分。
- ④面接=下書きノートを持ち面接を受けます。講義について、志望理由、将来の進路についてなどを質問します。「グループ面接」を実施する場合があります。

提出書類

エントリー時=エントリーカード・エントリー票・副票
内定者書類提出(出願時)=入学願書(検定料含む)・調査書

AO入試【講義型】2014年度入試結果 (【講義型】審査日①2013年8月24日 ②9月21日 ③10月19日 ④12月21日 ⑤2014年1月25日)

学部	学科	募集定員	エントリー	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数(現役)	合格者数(既卒等)	合格者数(女子)	倍率 エントリー/合格者	入学者数	入学者数(女子)
政治経済	政治経済	50	32	-	-	28	28	0	5	1.1	27	5
人文	欧米文化	30	13	-	-	13	13	0	6	1.0	12	6
	日本文化	30	24	-	-	20	20	0	13	1.2	19	12
人間福祉	児童	40	53	-	-	36	34	2	21	1.5	34	19
	こども心理	30	26	-	-	23	22	1	13	1.1	22	12
	人間福祉	30	23	-	-	22	21	1	9	1.0	21	8
合計		210	171	-	-	142	138	4	67	1.2	135	62

※募集定員はAOLレポート型・講義型・英語特別合計

英語特別入試

昨年まで実施していたリスニング試験を廃止し、英検準2級以上の資格が必須となりました。英語の語学力をいかして何がしたいのか、何を学びたいのかを見る入試です。

受験資格 英検準2級以上に合格していること

審査方法 面接

提出書類 エントリー時=エントリーカード・エントリー票・副票、
英検準2級以上の合格証明書(コピー可)
内定書類提出(出願時)=入学願書(検定料含む)、調査書

AO入試【英語特別】2014年度入試結果 (試験日 2013年12月21日)

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数(現役)	合格者数(既卒等)	合格者数(女子)	最高点	合格最低点	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数(女子)
政治経済	政治経済	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0
人文	欧米文化	2	2	2	2	0	1	-	-	-	2	1
	日本文化	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0
合計		2	2	2	2	0	1	-	-	-	2	1

※審査方法が英語リスニング・面接のため、最高点/合格最低点は掲載しません。

※児童学科・こども心理学科・人間福祉学科は(英語特別)の募集はなし。

2014年度AO入試[講義型]の講義内容

<p>政治経済学科</p>	<p>8月 講義のテーマは「市場の効率と失敗」です。「市場の効率」とは、資源や財の配分が人々の経済活動の目的に沿って行われることを指し、市場価格による商品の需給を通して、それを達成しているのです。しかし、「市場の効率」とは、四つの前提条件があり、どれ一つを欠いても、「市場の失敗」に結びついてしまいます。この講義の目的は、「市場」を理解することで、経済学の考え方を理解することにあります。</p> <p>9月 企業活動と管理の視点 ～持続可能な発展に向けて～ 企業活動は、人、モノ、金、情報の資源を活用して価値ある製品やサービスを生み出す活動です。企業活動は顧客に価値ある産物を提供することにより顧客の満足を得て利益を得、企業活動を継続していくものです。顧客の視点から特に重要な管理項目はQCD (Quality, Cost, Delivery)です。また、良い会社の条件とは、持続可能な発展に向けて、時代の変化に適応するために自らを変革し、人を尊重し、人の能力を十分に生かすような経営をおこない、また、長期的な視点のもとに、財務的業績が安定した経営を行い、社会の中での存在意義を意識して社会への貢献していくことです。企業は社会との良好な関係を築いていく社会的責任があります。企業が持続可能な発展に向けての管理の視点としてQCDに加えてCSRの概念にも触れます。</p>	<p>10月 利己主義から分かち合いへ —過度に道徳的でも、過度に不道徳でも、生き残れない!— 私たちは、道徳の要求を受け入れて多少なりとも利己的でなくなるほうがいいと当たり前のように思っています。自分にとってよいことを追求することが、社会(や自分が属するコミュニティ)の道徳の要求に少なくとも反しない、できれば一致すべきだとする考えを、私たちがごく自然に受け入れているのはなぜでしょう。本講義では、分かち合うという道徳(社会契約)が受け入れられる理由を「囚人のジレンマ」をベースに利己主義的な観点から考えます。</p> <p>12月 政治と嘘について一政治家は時に嘘をつくことが求められます。今回は、二人の理論家の議論を対照させながらその是非を問います。嘘を容認した理論家として、古代ローマの理論家キケロを、嘘を容認しなかった理論家としてドイツの哲学者カントを取り上げながら、問題にまつわる論点を平易に、専門用語を用いずに論じます。その際、中心として論じられるのは、「人を助けるために嘘をつくことは許されるか」というものです。</p> <p>1月 2013年国会で、「子どもの貧困対策法」が成立しました。成立直後の新聞の社説を読み概要の理解を求めます。そのうえで貧困の定義あるいは日本の貧困率について国際比較などからの説明を加えます。ついで、法律が政府の責務として定めている内容を説明し、子どもの貧困が、社会が解決に取り組むべき課題である理由について、いくつかのデータを紹介して説明します。</p>
<p>欧米文化学科 日本文化学科</p>	<p>8月 新聞は日本人をどこまで近代化したか?—フランス革命の起源は、政治以上にまず、「文化」レベルの変化でした。「読む」ことが社会を変えていったのです。では日本の場合はどうでしょうか。江戸時代には災害ルポルタージュや幕末の風説留を通じて、外部世界に積極的にコミットしようという動きも誕生しました。しかし明治期日本の新聞は大衆化路線が主流となり、社会変革を目指す理想高き新聞人たちの運動は未完に終わりました。</p> <p>9月 大学が成立した背景はどのようなものだったのでしょうか。大学は12世紀のヨーロッパにおいて、学生と教員の同職組合として成立しました。元々自前の建物を持っていませんでしたが、学生の宿泊場所が問題であり、寄付によって学生寮が成立し、これが大学の中心となりました。大学には「国際的な学位の授与」「真理探究の場」「自治の精神」など、他の教育・研究制度とは異なる特徴があります。</p>	<p>10月 講義のテーマは「九尾狐の誕生とその行方」。中国の文献に登場する「九尾狐」が様々なキャラクターをまとうてゆく姿を史的に概観しました。「九尾狐」が皇帝に献上される「瑞獣」とされる一方で、悪事をなす「妖獣」とされる背景を探りました。板書されたキーワードと口頭の解説を関連づけて説明できるようなノートの作成が肝要です。</p> <p>12月 講義テーマは「もののかたちの背後にある思想」。身のまわりの製品がなぜそういうかたちをしているのか、その背後にある「考え方・価値観」を、20世紀のヨーロッパのイスのデザインとその変化を具体例にして考えました。また、その変化が日本や世界のライフスタイルにどのような影響を与えたかを考察しました。講義では図版資料を配布し、図版の背後にある思想をきちんと理解できるかを重視しました。</p> <p>1月 2014年は第一次世界大戦勃発から100年の節目にあたります。本講義では、この戦争が西欧世界の歴史、ことに人々の〈内面〉にもたらした影響を指摘します。さらに、そこで突きつけられた問題群(技術論理の盲目的展開、メディアと「世論」等)は、100年後の世界と日本にて、依然(課題)であり続けていることを問いかけます。</p>
<p>児童学科 こども心理学科 人間福祉学科</p>	<p>8月 人間福祉学部での学びは、単に知識と技術を習得するだけではないことを知ります。直接、「人とかかわる」ことから出発する学問領域であり、「かかわること」を焦点化し捉えなおしていくことを、講義の中心課題とします。今回は、「自己」が「(自分がかかわっている)相手」を理解していく基本と、「自己」を知っていくこと、及び倫理の重要性について講義します。</p> <p>9月 三田誠広の『十七歳で考えたこと』を教材として、若者たちの「自分探し」について講義し、参加者と一緒に「自分探し」を巡る問題や苦しみを考えます。 「自分探し」は苦しい体験であると同時に、人間としての成長の視点から見ると、大変重要な意味があることを考えます。</p>	<p>10月 近代の社会福祉がイギリスから始まり、アメリカで発展し、その後、日本の実践と融合しました。本講ではこれらの歴史とともに、エリザベス救貧法(劣等処遇の影響)やヘレンケラーなどの逸話もまじえて講義します。さらに、今日の社会福祉は、すべての人々を対象とし、よりよく生きるために不可欠な社会保障や専門援助であることをお話します。</p> <p>12月 講義のテーマは、「国語科の授業づくり—入門期を中心に—」です。国語科は、言語の教育をする時間です。授業を通して「日常生活に必要な国語の力」や「他教科の学習の基本となる国語の力」をつけることが求められています。小学校入門期の国語教室で子どもたちに「言葉の力」をつけるための指導技術について、事例を交えて解説します。</p> <p>1月 障がいがあっても当たり前前に暮らすために～ノーマライゼーションと環境整備～障がい環境によって大きくも小さくもなります。環境を整備することによって障がいがある人も当たり前の生活を送ることができます。当事者の言葉や事例を取り上げて説明します。</p>

受験生へのアドバイス

講義中は、板書はもちろん、講義内容を詳細にメモすることが必要です。教員が強調したこと、繰り返したことはその講義のポイントなので、板書されていなくても書き留めておき、清書の際に活かすとよいでしょう。スライドが用いられる場合にも、その文字を筆記するだけでなく、耳で聞いた解説内容をしっかり理解して書きとめることが求められています。質問は歓迎されますので、内容や用語が分からない時には進んで質問をして、理解を深めるとよいでしょう。

清書の時間を利用して、この講義の中心的な問い、結論、そして結論に至るまでの重要なポイントは何かについて改めて考え、講義中にとったノートの内容につけ加えましょう。ポイントを捉えて、それを自分の言葉にして表現する努力が望まれます。下書きノートの審査の対象にはならないので、下書きに書かれていることを書き漏らさないように注意すること。

また、誤字のないように辞書で確認しておく必要があります。

面接にあたっては、まずリラックスし、心を開いて会話を楽しむような気持ちでのぞむことが大事です。面接では、受講内容を振り返り、その流れを自分の言葉で説明したり、感想や意見を求められたりするので、その心づもりをしておいてください。

対策

普通の授業でも、先生の話す事柄を注意深く聴き、大事だと思ったことを自覚的に書き記す習慣をつけておきましょう。また、新聞、テレビやホームページで流れる、ニュースや解説番組などに、耳と目を向け、その内容を知識として心に留めるとよいでしょう。

高校までの成績、活動と志望理由、将来の目標に基づく

推薦入試

Point. 1 公募推薦の小論文では自己の意見を的確に表現する力を審査します。

Point. 2 志望理由書による面接では、大学進学のための目的や将来の目標を確認します。

Point. 3 「クリスチャン推薦」「キリスト教関係者推薦」を行っています。

選考のポイント

本学の推薦入試は「指定校推薦」及び「クリスチャン推薦・キリスト教関係者推薦」と「公募推薦」を行います。「指定校推薦」及び「クリスチャン推薦」では小論文審査は行わず、書類審査と面接を行います。面接において志望の動機や入学後の目標などを確認することに力を入れます。本学面接担当教員は、志望理由書を事前にチェックし面接時に必ず志望理由や将来目標を質問しますので、志望理由書には将来目標がわかりやすく記載されていることが大切となります。また、高等学校における活動の記録として、クラブ活動や委員会活動などがありましたら記入してください。推薦入試は高校でどのように充実した学校生活を送ったかが選考の重要なポイントになります。

オープンキャンパスに参加して、聖学院大学の教育の内容を理解するとともに、志望する学科の教員と個別に話ができる「個別相談」を活用するとアドバイスを受けることができます。積極的に参加されることをお勧めします。

「公募推薦」の小論文につきましては、提示された文章を読んで、それについて論文を書く形式や、テーマが与えられて、それについて自分の意見を述べる形式になります。書かれた内容を中心に審査しますが、小論文としての様式を整えておくことも必要になります。日ごろから文章に親しみ、文章を書く練習をしておくことをお勧めしま

す。広く社会に関心を持っているかを問われますので新聞やテレビニュースなどで視野を広げておくことも大切なポイントです。

論文作成にあたっては、時間配分を考慮に入れた練習をしていると試験当日は安心できると思われます。論文内容については、受験生の意見がしっかりと述べられているかを評価の基準とします(過去問題集「推薦入試対策 小論文のポイント」を参考にしてください)。

本学ではオープンキャンパスとは別にサマースクール(7・8月)を実施します。一日、大学生になって講義を体験するもので、小論文の書き方講座など実習を交えて開かれます。小論文に自信のない、あるいはエントリーカード・志望理由書の書き方がわからない受験生はご利用ください。

面接では、志望理由書を元に志望の動機や将来の目標について確認しますが、緊張して質問と違う答えが返ってくる場合があります。出願時に提出する志望理由書は、自分自身で考えた内容をしっかりと書くことが大切です。また、本学ではアドミッション・ポリシー(P.7)を提示していますので、それをよく読み、理解していることが重要です。

2015年度推薦入試概要

募集定員

■政治経済学部 ・政治経済学科 55名	■人文学部 ・欧米文化学科 25名 ・日本文化学科 25名	■人間福祉学部 ・児童学科 30名 ・こども心理学科 25名 ・人間福祉学科 25名
-------------------------------	--	--

入試日程等

入試区分	公募推薦I期	クリスチャン推薦	キリスト教関係者推薦	公募推薦II期
対象学部・学科	政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、児童学科、こども心理学科、人間福祉学科			
受験資格	2015年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者			
推薦基準	全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上	① 所属する教会の牧師と役員会が推薦するクリスチャンであること。 ② キリスト教学校の場合は聖書科教師あるいはチャプレンの推薦があること。 ③ 入学後、大学のキリスト教関連クラブで活動する意志のあること。 ④ 大学の学習に耐え得る十分な基礎学力があること。	① キリスト教に関心があること。 ② 教会に連なっているクリスチャンの関係者の推薦があること。 ③ 入学後、大学のキリスト教関連クラブで活動する意志のあること。 ④ 全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上であること。	全体の評定平均値が3.0以上で、かつ全教科のうちいずれか1教科の評定平均値が3.5以上
出願期間	郵送 2014年10月1日(水)～11月5日(水) [必着] 窓口受付 11月5日(水)9:00～12:00			2014年11月10日(月)～12月17日(水) 窓口受付 12月17日(水)9:00～12:00
審査日	2014年11月 8日(土)			2014年12月20日(土)
合格発表日	2014年11月11日(火)			2014年12月23日(火・祝)
手続期間	2014年11月11日(火)～11月17日(月)			2015年1月5日(月)～1月13日(火)
審査方法	① 書類審査(調査書・学校長の推薦書(指定用紙)・志望理由書=800字) ② 小論文(60分・800字) ③面接	① 書類審査(調査書・課題・志望理由書=800字) ② 課題に基づく面接	① 書類審査(調査書・課題・志望理由書=800字) ② 課題に基づく面接	① 書類審査(調査書・学校長の推薦書(指定用紙)・志望理由書=800字) ② 小論文(60分・800字) ③面接

●「指定校推薦」については、指定校に別途ご案内しています。詳細は、アドミッションセンターへお問い合わせください。

2014年度公募推薦入試 出題のねらいとアドバイス

	出題のねらい	アドバイス
政治経済学科 欧米文化学科 日本文化学科 こども心理学科 人間福祉学科	「タテの軸(縦の軸)」の対になるものとして「横並び平等主義」というキーワードに気づくことができるか、自明のこのように述べられていることのうちに筆者の主張が隠されていることを見抜くことができるか、そして筆者は「縦の軸」と「横並び平等主義」の優劣を論じているのではないことを理解できたか、の3点で、文章を読み解く力をはかります。そして、賛否の立場を明確にして説得力のある論を展開できるか、引用する事例が適切かといった点で、論理的思考と表現の力を考查します。	小論文を書くにあたっては、まず設問の意味を理解することが重要です。設問にきちんと答えているかどうか、小論文の最大の評価点です。課題文を読むときは、見出しからキーワードを理解し、さらに課題文のなかにキーワードと対になる表現が隠されていないかに注意をしましょう。そして、キーワードを中心に文章を組み立てましょう。自分の主張(論点)を明確にし、自分の体験や新聞その他で見聞きしたことを具体例として引くと良いでしょう。単なる感想文にならないように注意をしましょう。段落をつくること、与えられた文字数の80%以上は埋めることを心がけましょう。
児童学科	幼年期のごっこ遊びについて書かれた回想録を題材としましたが、知識を問うものではありません。受験生の、子どもの発達や子どもの生活・遊びに関心を持ち資料を読み込む力、資料から情報を収集して自分の言葉でまとめる力をはかることがねらいです。併せて答案からは、読み取った具体的な情報を整理してわかりやすく説明できるか、問われたことに正対して回答できるか、子どもの世界を尊びそこに心を寄せることができるか、他者に伝えたいと願い丁寧に表記されているか、の点からも判断いたしました。	児童学科は、子どもにとっての「よい先生」を育てる学科です。そのため、子ども・保育・教育に関する資料から正確に情報を得る力は不可欠です。新聞等の関連記事を読んで、正確に情報を読み取れているか、練習なさるとよいでしょう。次には、得られた情報をもとに自分で考える力を鍛えましょう。その事柄が(自分ではなく)子どもにとって何を意味するのか、子どもの視座から具体的に考えられる力は、「よい先生」になるための鍵です。他者の視点で考え自分の視点でまとめる練習は、受験準備のためだけでなく、将来の仕事に必要な力を育みます。

推薦入試2014年度結果 (公募推薦・審査日①2013年11月9日 ②12月21日)

※公募・指定校推薦・クリスチャン・キリスト教関係者推薦を含みます

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数 (女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数 (女子)
政治経済	政治経済	55	28	27	27	4	1.0	27	4
人文	欧米文化	25	17	17	17	11	1.0	17	11
	日本文化	25	39	39	39	22	1.0	39	22
人間福祉	児童	30	44	44	43	26	1.0	43	26
	こども心理	25	26	26	26	12	1.0	25	11
	人間福祉	25	35	35	35	11	1.0	35	11
合計		185	189	188	187	86	1.0	186	85

自分自身の特技や活動を将来にどのようにつなげるかを審査します

自己推薦・スポーツ推薦入試

部活動、生徒会・委員会活動など学校生活の中での経験や、地域の諸活動(祭り、子ども会、ボランティアなど)に参加した経験がある人、自分の考えや意見を人前で話すことができる人、個性的な考えを持っている人、そして何より将来の目標に向かって努力する強い意思を持っている人が評価されます。

Point. 1 あなたの個性豊かな「表現力」を発揮できる入試です。

Point. 2 表現する内容は「自分の考え」「志望理由」「将来の希望」です。

Point. 3 出願には、成績基準を求めません。既卒者の出願もできます。

選考のポイント

自己推薦入試・スポーツ推薦入試は、特技や活動のアピールを通して示された受験生の可能性を見出すことを目的に作られたユニークな入試です。

本学の公募推薦も指定校推薦も学校長の推薦を得た高校生を対象にしているため、既卒の方や高校卒業認定試験の方などは受験できませんが、自己推薦入試は既卒の方、高校卒業認定試験の方や社会人の方などにも受験の機会を広げた入試です。他大学との併願も可能です。自己推薦として「志望理由書」を提出していただきます。

選考においては、志望理由書とそれに基づく面接で、将来の目標や意欲を審査します。小論文が課されますので、文章を読むこと、書くことに親しんでおくことが大切です。本学ではオープンキャンパスやサマースクールで小論文の書き方を指導していますので、ぜひ活用してください。

今、現在何かが良くできる、あるいは実績があるということも大切ですが、むしろそのことを将来の目標達成のためにどのように活かすか、またこれからのような努力を行ってその能力を伸ばしていくかを審査していきます。なお、今年度の自己推薦入試も1月に実施します。

スポーツ推薦入試は、本学の入学を強く希望し、高校生活で鍛えられた心身両面で優れた能力を持った人を教員などの証明により自己表現できる人材として優先的に入学を許可するものです。また、本入試は学校長の推薦が必要な公募推薦や指定校推薦とは異なり、クラブの顧問や監督、担任等が記入したスポーツ推薦書(指定用紙)を提出します。また、一定のスポーツの実績が必要となりますので、よくスポーツ推薦入試要項をお読みください。3期(9, 12, 1月)に分けて審査を行います。自己推薦入試と同様に他の大学との併願が可能です。

2015年度自己推薦入試概要

募集定員(スポーツ推薦含)

■政治経済学部 ・政治経済学科	5名	■人文学部 ・欧米文化学科 ・日本文化学科	5名 5名	■人間福祉学部 ・児童学科 ・子ども心理学科	募集なし 5名	・人間福祉学科	5名
--------------------	----	-----------------------------	----------	------------------------------	------------	---------	----

入試日程等

入試区分	自己推薦
対象学部・学科	政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、子ども心理学科、人間福祉学科
出願資格	既卒・大学検定試験・高校卒業認定試験・社会人・年齢問わずどなたでも受験可能。
出願基準	①大学における学習・研究や将来の生き方に課題を持ち、強い意欲と各学科に適した資質を有する者。 ②芸術文化・スポーツ・ボランティア活動等に明確な課題を持ち、強い意欲を有する者。 ③実社会や海外生活などの経験を、学習・研究等に生かすなど課題を持ち、強い意欲を有する者。
出願期間	郵送 2014年12月10日(水)～2015年1月14日(水)必着 窓口受付 2015年1月14日(水)受付9:00～12:00 インターネット出願 2015年1月14日(水)12時(正午)迄
審査日	2015年1月17日(土)
合格発表日	2015年1月20日(火)
手続期間	2015年1月20日(火)～1月26日(月)
審査方法	①書類審査(調査書・志望理由書=800字) ②小論文(60分・600字) ③面接

●併願可能。詳しくはお問い合わせください。

2014年度自己推薦入試 出題のねらいとアドバイス

	出題のねらい	アドバイス
政治経済学科	2020年に世界的な大イベントであるオリンピックとパラリンピックが日本の首都である東京で開催されることになりました。このことの意味・意義がどこにあるか、その影響はどのようなもので、どの程度なものであるかを日本で生活する人間として認識してもらうことをねらって出題しました。オリンピック・パラリンピックが身近であろうとなかろうと、世界的な大イベントは必ず何らかのインパクトや影響を与えるものです。それはオリンピック・パラリンピックに限ったことではありません。今後、話題にのぼるできごとを単に事実として知るだけでなく、影響や意義といった観点から考えていくことが大切であると言えます。	今回の課題文は、6年後という未来に開かれる東京オリンピック・パラリンピックについて、現在の時点で考え、予測するという時間差が論述のポイントです。すでに起きていることや起きつつあることについて論述するよりも、先見性、分析性、論理の時間的展開性が求められます。この世界的な大イベントに賛同する人も批判的な人もいます。ものごとは必ずといっていいほど明るい面と暗い面があります。利点と問題点を自分なりに重ねていって、最終的に自分の意見を総合的に出していくことが高い評価を得ることにつながります。単に賛否を述べるだけでは不十分であり、適切な論述とはなりません。
欧米文化学科		
日本文化学科		
こども心理学科		
人間福祉学科		

自己推薦入試 2014年度入試結果 (審査日2014年1月18日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数(現役)	合格者数(既卒等)	合格者数(女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数(女子)
政治経済	政治経済	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
人文	欧米文化	5	1	1	1	0	1	0	1.0	1	0
	日本文化	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	人間福祉	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合計		25	1	1	1	0	1	0	1.0	1	0

※児童学科は(自己推薦)の募集はなし。
※募集定員は、スポーツ推薦入試を含みます。

2015年度スポーツ推薦入試概要

入試日程等

入試区分	スポーツ推薦
対象学部・学科	政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科
受験資格	2015年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込の者
推薦基準	①スポーツ推薦書のある者(推薦書記入者:顧問、監督、担任、その他) ②証明条件 A・Bいずれかの該当で出願可 A ●個人競技では高校時に都道府県大会において8位以上の者。 ●団体競技では高校時に都道府県大会においてベスト16以上の者。 B ●高校3年間部活動を継続し礼儀正しく、人間性が評価できる者。スポーツ関連クラブも含む。
審査方法	①書類審査(スポーツ推薦書(指定用紙)・志望理由書=600字程度・他※) ②小論文(60分・600字) ③面接

※【任意提出書類】活動実績が高校外部での場合には、クラブチーム等の課外活動実績報告書(A4書式自由) ●併願可能。詳しくはお問い合わせください。

■期間別日程

期間	出願期間	審査日	合格発表	手続期間
I期	郵送 2014年 8月 1日(金)~9月17日(水) [必着] 窓口受付 9月17日(水)9:00~12:00	2014年 9月20日(土)	2014年 9月23日(火・祝)	2014年10月14日(火)~10月17日(金)
II期	郵送 2014年11月10日(月)~12月17日(水) [必着] 窓口受付 12月17日(水)9:00~12:00	2014年12月20日(土)	2014年12月23日(火・祝)	2015年 1月 5日(月)~ 1月13日(火)
III期	郵送 2014年12月10日(水)~2015年1月14日(水) [必着] 窓口受付 1月14日(水)9:00~12:00	2015年 1月17日(土)	2015年 1月20日(火)	2015年 1月20日(火)~ 1月26日(月)

スポーツ推薦入試2014年度入試結果 (審査日 ①2013年9月21日 ②12月21日 ③2014年1月18日)

学部	学科	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	合格者数(現役)	合格者数(既卒等)	合格者数(女子)	倍率 受験者/合格者	入学者数	入学者数(女子)
政治経済	政治経済	5	7	6	6	6	0	2	1.0	6	2
人文	欧米文化	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	日本文化	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
人間福祉	児童	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	こども心理	5	0	0	0	0	0	0	-	0	0
	人間福祉	5	1	1	1	1	0	1	1.0	1	1
合計		25	8	7	7	7	0	3	1.0	7	3

※児童学科は(スポーツ推薦)の募集はなし。
※募集定員は、自己推薦入試を含みます。

聖学院大学入試について

聖学院大学の入試は「ふるい落とし」をするのではなく、将来の夢をもち、意欲的に大学生活に取り組むことのできる学生を「見出す」ことを目指して作られています。

聖学院大学は「ふるい落とすための入試」から、「受験生の可能性を見出す入試」への大きな改革を行ってきました。そのために「どのような学生に入学してほしいか」を提示した『聖学院大学アドミッション・ポリシー』を提示しています。

本学では「面倒見のよい大学。入って伸びる大学。」を本学の教育姿勢をわかりやすく示すことばとして使っています。

本学では学生が目的をもって、意欲的に学問に取り組むには何よりも教員と学生の豊かなコミュニケーションが大切であると考え、徹底した少人数教育に取り組んでいます。多くの教職員が学生の顔と名前を一致させて覚えているということがマンモス大学にはないフレンドリーなキャンパスの雰囲気を作り出しています。これが本学の「面倒見のよさ」の基本です。さらに入学前準備教育やニュー・スチューデント・オリエンテーション、クラスアドバイザー制や現代社会の諸問題を取り上げ学んでいくアセンブリーアワー、使える英語を目指す英語教育、大学生としての表現力を身につける「話し方・書き方表現」、ITのスキルを徹底して学ぶコンピュータ教育など、独自のカリキュラムが実績をあげてきました。また「アドミッションセンター」、「キャリアサポートセンター」、「ラーニングセンター」、「ボランティア活動支援センター」、「学

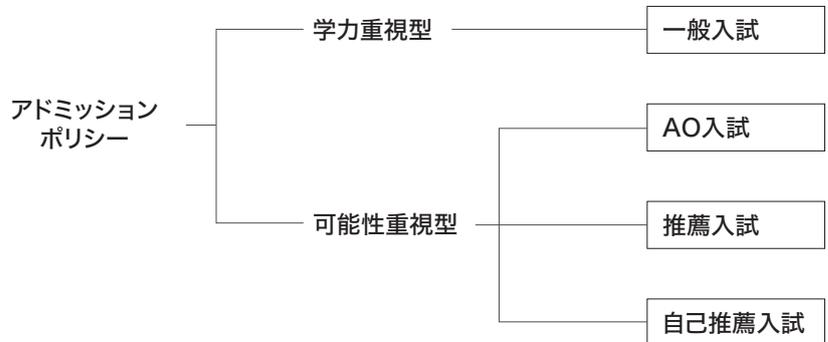
生相談室」など学生がいつでも相談できる仕組みを作っているのも「面倒見のよい大学」、そして「入って伸びる大学」という評価の裏付けとなっています。

入試制度においても能力の「ふるい落とし」をするのではなく、将来の夢に向かって意欲的に取り組むことのできる学生を「見出す」ことを目指して4つの入試が作られています。「アドミッション・ポリシー」をはっきりと掲げているのもその姿勢のあらわれです。また各入試で毎日の出願状況の公開、合格最低点、平均点、正答率の公開など受験生に役立つ入試情報の公開をホームページや高校へのFAX情報を通じて積極的に行っ

ています。インターネット上にシラバスを公開するとともに、受験生向けに発行しているこの『データブック』では、何が学べるかがわかるようにしています。さらに「学科目標」(卒業時点を想定して学生が到達すべき目標を示したもので「ディプロマ・ポリシー」とも呼ばれます。)も提示しています。

今年度もいくつかの入試の改革を行いました。その一つひとつが、受験生から見てメリットになるようにという方針を貫いています。ぜひ本学のアドミッション・ポリシーを理解したうえで、本学の教育の中であなたの夢を実現してください。私たちは、あなたの夢と目標が実現できるように全力でバックアップします。

入試の4つの方式



第93回関東インカレ(2014年5月16日、17日、24日、25日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場、日産スタジアム)にて、聖学院大学陸上部は好成績を収めました。

照井はるか(コミュニティ政策学科2年)	女子1部走高跳び	銀メダル	橋本三四郎(政治経済学科4年)	男子やり投げ	4位
女子1部 4x400mリレー	8位		上条琢磨(政治経済学科2年)	男子やり投げ	8位
荷田翔子(人間福祉学科3年)	小野南(コミュニティ政策学科4年)		小池礼華(コミュニティ政策学科2年)	女子やり投げ	7位
水野真琴(政治経済学科2年)	本間涼夏(人間福祉学科3年)		岩田駿介(コミュニティ政策学科3年)	男子2部砲丸投げ	8位
綱島凌(政治経済学科1年)	男子2部100m	7位	※男子2部総合	23位	女子1部総合 21位

大学で必要となる基礎学力を筆記試験により判断する

一般入試

Point. 1 適切な出題で基礎学力を審査します。

Point. 2 一回の入試で2学科に出願できる2学科出願制度があります。

選考のポイント

聖学院大学では、難問や奇問をなくし、基礎的な学力があれば点数が取れる「良問化」に常に努めています。毎年、外部の専門機関による入試問題の評価を実施し、適正な範囲から出題されているか、難易度は受験生に合っているかなどの観点から厳しいチェックを受けています。その結果は学内にフィードバックし、次年度の問題作成に活かしています。

このデータブックで問題を公開し、学科ごとに実質倍率、合格最高点・最低点、平均点、各問ごとの正答率を公表しています。また、学内の入試問題作成委員会が「傾向と対策」を執筆しています(過去問題集に掲載)。

このように、本学では情報の公開を積極的に進めていますので、データブックや入試要項をしっかりとチェックしておくことが、高得点のカギとなります。また、最新の情報は大学ホームページ(<http://www.seigakuin.jp>)でも公開しています。入試の変更点などの情報が出ることがありますので合わせてチェックしてみることをお勧めします。

出題範囲は文部科学省の課程に準拠します。範囲を超えた問題は出題しない方針です。各科目とも入試要項に指定された範囲を確認し、基礎をしっかりと押さえてください。

本学の2015年度一般入試はA日程、B日程、C日程、D日程、E日程の5期にわけて行います。A日程、B日程科目数については2科目入試と3科目入試の二種類があります(C日程は2科目のみ)。3科目入試は点数の高い2科目で判定します。なお、2013年度より国語総合の出題範囲を近代以降の文章としています。

一般入試D日程、E日程は、小論文と面接による審査を行います。どうしても年度中に大学に入学したい受験生のための最後のチャンスとして3月後半に実施します。

2015年度一般入試概要

募集定員

入試区分	政治経済学部	人文学部		人間福祉学部		
	政治経済	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉
A日程	50	20	20	30	20	20
B日程						
C日程						
D日程						
E日程						

入試日程

入試区分	試験日	合格発表日	手続期間
A日程	2015年2月 3日(火)	2015年2月 6日(金)	2015年2月 6日(金)～2月20日(金)
B日程	2015年2月13日(金)	2015年2月15日(日)	2015年2月16日(月)～2月27日(金)
C日程	2015年3月 2日(月)	2015年3月 4日(水)	2015年3月 4日(水)～3月10日(火)
D日程	2015年3月11日(水)	2015年3月13日(金)	2015年3月13日(金)～3月19日(木)
E日程	2015年3月20日(金)	2015年3月24日(火)	2015年3月24日(火)～3月27日(金)

出願期間

通常受付

入試区分	出願期間 郵送[必着]	窓口受付
A日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は1月29日(木)迄 2015年1月1日(木)～1月30日(金)[必着]	2015年1月30日(金) 窓口受付 9:00～12:00
B日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は2月8日(日)迄 2015年1月1日(木)～2月9日(月)[必着]	2015年2月9日(月) 窓口受付 9:00～12:00
C日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は2月25日(水)迄 2015年1月31日(土)～2月26日(木)[必着]	2015年2月26日(木) 窓口受付 9:00～12:00
D日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は3月5日(木)迄 2015年2月16日(月)～3月6日(金)[必着]	2015年3月6日(金) 窓口受付 9:00～12:00
E日程	郵送は下記期限内、インターネットの場合は3月16日(月)迄 2015年2月28日(土)～3月17日(火)[必着]	2015年3月17日(火) 窓口受付 9:00～12:00

当日受付

入試区分	当日インターネット受付	当日窓口受付
A日程	2015年1月30日(金)～2月2日(月)	2月3日(火)8:00～8:50
B日程	2015年2月9日(月)～2月12日(木)	2月13日(金)8:00～8:50
C日程	2015年2月26日(木)～3月1日(日)	3月2日(月)8:00～8:50
D日程	2015年3月6日(金)～3月10日(火) 12時(正午)迄	3月10日(火)9:00～12:00
E日程	2015年3月17日(火)～3月19日(木) 12時(正午)迄	—

試験科目

入試区分	試験科目	試験時間	試験会場
一般入試 A日程	「2科目入試」または「3科目入試」を選択できます。 英語I・II+選択科目 (選択科目:国語総合(近代以降の文章)、 世界史B、日本史B、政治・経済、数学I・数学A) ※2科目受験は英語を含む2科目受験 ※3科目受験の評価は上位2科目の合計点	各60分 100点 国語総合 9:30~10:30 英語I・II 11:00~12:00 国語以外の選択科目 13:00~14:00	本学、仙台、宇都宮、新潟、 高崎、東京
一般入試 B日程	「2科目入試」または「3科目入試」を選択できます。 英語I・II+選択科目 (選択科目:国語総合(近代以降の文章)、 世界史B、日本史B、政治・経済、数学I・数学A) ※2科目受験は英語を含む2科目受験 ※3科目受験の評価は上位2科目の合計点	各60分 100点 国語総合 9:30~10:30 英語I・II 11:00~12:00 国語以外の選択科目 13:00~14:00	本学、東京
一般入試 C日程	国語総合(近代以降の文章) 英語I・II	各60分 100点	本学、宇都宮、高崎、東京
一般入試 D日程	小論文 面接	60分	本学
一般入試 E日程	小論文 面接	60分	本学

2学科出願について

一般入試A～C日程は、1回の試験で2学科出願できます。

地方試験会場でも2学科出願ができます。

入学検定料は1学科でも2学科併願でも

同額出願料金(30,000円)。

※願書の当日受付扱いは、A・B日程は大学会場3科目2学科出願、
C日程は大学会場2学科出願に限ります。

「シーズン・パス方式」と 「センター試験出願者の受験料の減額」について

複数回受験できる「シーズン・パス方式」を採用しています。

※入学検定料30,000円で年度内のすべての入試を何回でも受験することが出来ます。
途中で受験学科を変更することも可能です。

大学入試センター出願者は本学の一般入試の入学検定料を20,000円に減額致します(こちらも複数回受験パスとなります)。

※センター利用入試ではありません。

2014年度秋学期入試

<小論文・面接型>

一般・帰国生入試・編入学試験対象

政治経済学科、コミュニティ政策学科(編入学のみ)、
欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科

出願期間 <郵送は下記期限内、インターネットの場合は7月2日(水)12時(正午)迄>
郵送 2014年6月2日(月)～7月2日(水)【必着】
窓口受付 7月2日(水)9:00～12:00

試験日 2014年7月5日(土)

審査方法 小論文、面接

合格発表日 2014年7月8日(火)

手続期間 2014年7月8日(火)～7月15日(火)

<AO方式[レポート]型>

一般・社会人・帰国生・留学生入試・編入学試験対象

政治経済学科、コミュニティ政策学科(編入学のみ)、
欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科

エントリー受付 2014年4月1日(火)～7月30日(水)
①7月21日(月・祝)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、
エントリー許可を受けていること。
②7月30日(水)までに、エントリー時に必要な提出書類を提出できること。

審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

内定者書類提出(出願)期間【必着】	合格発表日	手続期間
2014年8月18日(月)～8月22日(金)	8月24日(日)	8月25日(月)～8月29日(金)

2013年度 秋学期入試結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	2	0	2	0	2	0
人文	欧米文化	1	1	1	1	1	1
	日本文化	2	2	2	2	2	2
人間福祉	児童	0	0	0	0	0	0
	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	0	0	0	0	0	0
合計		5	3	5	3	5	3

2014年度一般入試結果

入試科目別平均点 A日程

学部	学科	科目	英語	国語	政治・経済	世界史	日本史	数学
			満点 100	100	100	100	100	100
政治経済	政治経済	受験者数	41	39	9	8	8	7
		平均点	56.0	59.1	67.5	64.8	60.5	64.1
人文	欧米文化	受験者数	21	21	1	6	3	1
		平均点	59.0	62.5	67.5	64.8	60.5	64.1
	日本文化	受験者数	33	32	5	6	13	1
		平均点	58.7	66.3	67.5	64.8	60.5	64.1
人間福祉	児童	受験者数	52	49	6	4	11	20
		平均点	63.0	64.4	67.5	64.8	60.5	64.1
	こども心理	受験者数	27	26	5	3	8	9
		平均点	59.8	65.9	67.5	64.8	60.5	64.1
	人間福祉	受験者数	28	23	4	2	7	7
		平均点	55.5	61.8	67.5	64.8	60.5	64.1

※政治・経済、世界史、日本史、数学は、科目選択者が少ない学科があるため、全学科平均になっています。

B日程

学部	学科	科目	英語	国語	政治・経済	世界史	日本史	数学
			満点 100	100	100	100	100	100
政治経済	政治経済	受験者数	12	11	3	3	1	-
		平均点	55.8	60.3	56.9	67.2	55.8	-
人文	欧米文化	受験者数	13	13	1	5	2	-
		平均点	62.2	58.4	56.9	67.2	55.8	-
	日本文化	受験者数	16	15	1	4	7	-
		平均点	59.6	66.2	56.9	67.2	55.8	-
人間福祉	児童	受験者数	28	26	3	2	11	5
		平均点	56.1	53.0	56.9	67.2	55.8	57.2
	こども心理	受験者数	19	17	1	3	7	4
		平均点	51.2	53.2	56.9	67.2	55.8	57.2
人間福祉	受験者数	10	10	1	-	6	1	
	平均点	55.4	52.0	56.9	-	55.8	57.2	

※政治・経済、世界史、日本史、数学は、科目選択者が少ない学科があるため、全学科平均になっています。

会場別受験者合格者数 ※志:志願者数 合:合格者

A日程

学部	学科	大学		東京		仙台		宇都宮		新潟		高崎	
		志	合	志	合	志	合	志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	26	25	13	13	0	0	0	0	0	0	3	3
		15	13	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0
人文	欧米文化	19	19	8	7	0	0	1	1	1	1	5	5
	日本文化	40	31	9	6	2	2	0	0	0	0	4	4
人間福祉	児童	22	21	1	1	1	1	1	1	0	0	3	3
	こども心理	16	14	8	8	0	0	0	0	1	1	5	5
合計		138	123	45	41	3	3	2	2	2	2	20	20

B日程

学部	学科	大学		東京	
		志	合	志	合
政治経済	政治経済	10	10	8	3
		15	12	4	2
人文	欧米文化	15	14	4	2
	日本文化	26	13	6	3
人間福祉	児童	20	13	6	6
	こども心理	10	7	4	3
合計		96	69	32	19

C日程

学部	学科	大学		東京		宇都宮		高崎	
		志	合	志	合	志	合	志	合
政治経済	政治経済	12	10	1	1	1	1	2	2
		3	3	0	0	0	0	0	0
人文	欧米文化	5	4	0	0	0	0	2	2
	日本文化	11	10	2	2	1	1	1	1
人間福祉	児童	5	4	2	2	0	0	0	0
	こども心理	3	1	2	1	0	0	1	1
合計		39	32	7	6	2	2	6	6

C日程

学部	学科	科目	英語	国語
			満点 100	100
政治経済	政治経済	受験者数	14	14
		平均点	53.9	61.0
人文	欧米文化	受験者数	3	3
		平均点	68.7	60.7
	日本文化	受験者数	7	7
		平均点	54.0	61.9
人間福祉	児童	受験者数	14	14
		平均点	57.9	53.4
	こども心理	受験者数	7	7
		平均点	55.1	54.1
	人間福祉	受験者数	4	4
		平均点	55.0	50.3

学科別併願状況

	受験学科1	受験学科2	A日程	B日程	C日程	総計
政治経済	政治経済	なし(単願)	20	9	6	35
	政治経済	欧米文化	3	3	0	6
	政治経済	日本文化	4	1	2	7
	政治経済	児童	1	0	2	3
	政治経済	こども心理	1	1	0	2
	政治経済	人間福祉	0	0	2	2
人文	欧米文化	なし(単願)	9	6	1	16
	欧米文化	政治経済	3	0	1	4
	欧米文化	日本文化	3	1	0	4
	日本文化	なし(単願)	13	5	1	19
	日本文化	政治経済	4	2	3	9
	日本文化	欧米文化	2	5	0	7
	日本文化	児童	3	1	0	4
	日本文化	こども心理	2	0	0	2
	日本文化	人間福祉	1	0	0	1
	児童	なし(単願)	28	7	5	40
	児童	政治経済	2	1	0	3
	児童	欧米文化	1	3	1	5
	児童	日本文化	0	2	1	3
	児童	こども心理	11	11	5	27
児童	人間福祉	4	4	1	9	
人間福祉	こども心理	なし(単願)	8	4	0	12
	こども心理	欧米文化	0	1	0	1
	こども心理	児童	2	3	0	5
	こども心理	人間福祉	1	3	1	5
	人間福祉	なし(単願)	12	1	1	14
	人間福祉	政治経済	4	1	0	5
	人間福祉	日本文化	2	2	0	4
	人間福祉	児童	3	0	0	3
人間福祉	こども心理	3	3	1	7	

2013年度 秋学期入試(一般入試)結果

学部	学科	志願者	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	1	0	1	0	1	0
	欧米文化	1	1	1	1	1	1
	日本文化	1	1	1	1	1	1
人間福祉	児童	0	0	0	0	0	0
	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	0	0	0	0	0	0
合計		3	2	3	2	3	2

※秋学科入試(社会人、帰国生、留学生、編入学)についてはP25~27参照。

都道府県別入試データ

2014年度の全国からの志願者数は830名、うち合格者が715名です。
主に関東圏からの志願者数が多く、全体の約72%をしめる600名が
埼玉(439名)・東京(161名)の1都1県からの志願者で占められています。

Total
715 / 830

合格者数 / 志願者数 (かっこ内は女子数)

※いずれも特別・編入学・秋学期含まず



現役 / 既卒別志願者数

学部	学科	総数	現役	既卒等
政治経済	政治経済	162	143	19
人文	欧米文化	86	73	13
	日本文化	136	122	14
人間福祉	児童	204	191	13
	こども心理	118	111	7
	人間福祉	124	117	7

※編入生・再入学・留学生・特別入試を含みません

高校別入試データ

※高校コード順に掲載

都道府県名	高校名	志願	合格	入学	
北海道	クラーク記念国際	22	17	16	
	星槎国際	4	3	3	
青森県	青森東	1	1	0	
	八戸西	2	2	1	
	六戸	1	1	1	
岩手県	杜陵	1	1	1	
宮城県	涌谷	1	1	1	
	松山	1	1	0	
	東北学院	1	1	1	
	仙台城南	1	1	1	
	西山学院	1	1	0	
秋田県	本荘	2	2	1	
	角館	1	1	0	
山形県	山形学院	1	1	1	
	基督教独立学園	1	1	1	
福島県	須賀川	1	1	0	
	会津学風	2	1	1	
	湯本	1	1	1	
	あさか開成	1	1	1	
	福島(私立)	1	1	1	
	尚志	2	2	2	
	大智学園	1	1	1	
	茨城県	水戸第二	2	2	1
茨城県	下妻第二	1	1	1	
	結城第一	2	2	2	
	結城第二	2	2	2	
	古河第一	3	3	2	
	古河第二	3	3	3	
	総和工業	1	1	1	
	境	2	1	0	
	牛久	1	1	1	
	総和	2	2	2	
	水戸桜ノ牧	1	0	0	
	三和	1	1	1	
	つくば秀英	1	1	1	
	つくば開成	6	5	3	
	第一学院(高萩校)	5	3	2	
	ルネサンス	1	1	1	
	東豊学園つくば松実	1	1	1	
	つくば国際大学東風	3	3	1	
栃木県	小山城南	1	1	1	
	足利南	2	2	2	
	那須拓陽	1	1	0	
	小山南	1	1	1	
	佐野清澄	1	1	1	
	白鷗大学足利	1	1	1	
	那須高原海城	1	1	0	
	日々輝学園	6	6	6	
	佐野日本大学	1	1	0	
	群馬県	沼田	1	1	1
		富岡	3	3	0
		松井田	1	1	1
		前橋(市立)	2	2	0
前橋西		2	2	0	
高崎東		3	3	1	
藤岡中央		1	1	0	
太田フレックス		1	1	1	
安中総合学園		1	1	1	
共愛学園		3	3	3	
桐生第一		4	3	2	
新島学園		2	2	0	

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
群馬県	関東学園大学附属	1	1	0
	高崎健康福祉大学高崎	2	1	1
	白根開善学校高等部	1	1	1
	明和県央	3	3	3
	学芸館	1	1	1
埼玉県	浦和(県立)	1	0	0
	松山	1	1	0
	川口(県立)	1	1	1
	熊谷女子	1	1	0
	春日部女子	9	8	1
	深谷第一	3	2	2
	鴻巣女子	2	2	2
	本庄	3	3	0
	久喜	2	2	2
	秩父	1	1	1
	蕨	1	1	0
	草加	12	11	3
	戸田翔陽	4	3	3
	岩槻	5	4	2
	坂戸	2	2	2
	川越工業	1	1	1
	浦和工業	1	1	1
	久喜工業	1	1	1
	深谷商業	1	1	1
	進修館	1	1	1
	岩槻商業	1	1	1
	浦和商业	2	2	2
	大宮商業	2	2	2
	熊谷商業	1	1	1
	所沢商業	1	1	1
	熊谷農業	1	1	1
	杉戸農業	1	1	1
川越総合	2	2	2	
与野	6	6	0	
鴻巣	5	5	5	
上尾	3	1	1	
豊岡	2	2	0	
桶川	2	2	2	
八潮	1	1	1	
志木	6	5	5	
越谷南	8	7	2	
川口北	2	2	0	
深谷	6	6	5	
北本	3	2	2	
熊谷西	7	5	0	
三郷	1	1	1	
羽生実業	1	1	1	
大宮中央	17	14	9	
羽生	2	2	2	
富士見	1	1	1	
上尾南	5	4	4	
白岡	1	1	1	
杉戸	2	2	0	
川口総合	2	2	2	
川越(市立)	3	1	1	
川口(市立)	6	6	2	
大宮北	5	5	2	
大宮西	1	0	0	
県陽	7	7	7	
川口東	2	2	2	
浦和北	4	3	1	

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
埼玉県	鷲宮	4	4	4
	朝霞西	3	2	1
	川越西	6	6	6
	越谷西	8	7	4
	坂戸西	2	2	2
	妻沼	1	1	1
	大宮東	10	8	6
	南稜	10	9	4
	桶川西	6	6	6
	三郷北	2	2	2
	庄和	1	1	1
	大宮南	6	6	3
	狭山清陵	3	2	2
	越谷東	2	2	2
	上尾橋	1	1	1
	新座総合技術	2	2	2
	鳩山	1	1	1
	草加西	3	2	2
	川口青陵	3	3	3
	伊奈学園総合	6	6	1
	大宮光陵	1	1	1
	久喜北陽	2	1	1
	鳩ヶ谷	3	2	2
	上尾鷹の台	3	3	2
	誠和福祉	4	4	4
	鶴ヶ島清風	1	1	1
	新座柳瀬	4	3	3
	寄居城北	1	1	1
	吹上秋桜	4	4	4
	蓮田松韻	2	2	1
	栗橋北彩	1	1	1
	ふじみ野	1	1	1
	蓮田特別支援	1	1	1
聖望学園	1	1	0	
小松原	3	2	2	
小松原女子	1	1	1	
細田学園	2	2	1	
本庄第一	10	10	5	
山村学園	2	2	2	
山村国際	1	0	0	
正智深谷	8	7	4	
大宮開成	3	3	1	
狭山ヶ丘	1	1	1	
武蔵越生	4	4	4	
武南	2	2	1	
東京成徳大学深谷	2	2	2	
浦和実業学園	23	13	4	
星野	5	3	2	
浦和ルーテル学院	3	2	1	
城西大学付属川越	4	3	1	
浦和学院	10	10	10	
昌平	5	5	5	
城北埼玉	2	2	0	
西武台	2	1	0	
秀明英光	10	7	7	
花咲徳栄	19	15	6	
秋草学園	8	7	6	
埼玉平成	1	1	1	
東京農業大学第三	3	3	2	
自由の森学園	3	3	3	
東野	3	3	3	

教育方針

2014年度
入試結果

AO入試

推薦入試

スポーツ推薦入試
自己推薦入試

一般入試

都道府県別
入試データ

高校別
入試データ

特別入試
編入学試験

入学前
準備教育

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
埼玉県	国際学院	4	3	2
	栄北	1	1	0
	松栄学園	1	1	1
	霞ヶ関	2	1	1
	武蔵野星城	1	1	1
	清和学園	2	2	2
千葉県	大川学園	4	4	4
	野田中央	1	1	1
	松戸六実	2	2	0
	柏中央	1	1	0
	流山南	1	1	1
	市川昴	1	1	1
	幕張総合	1	1	1
	昭和学院	1	1	1
	千葉経済大学附属	1	1	1
	文理開成	1	1	1
	二松学舎大学附属柏	1	1	1
	東京学館	2	1	1
	秀明八千代	1	0	0
東京都	わせがく	3	2	1
	あずさ第一	1	1	1
	荒川商業	1	1	1
	板橋	2	2	2
	大崎	1	1	1
	葛西工業	1	1	1
	葛飾野	1	1	1
	北園	1	1	1
	蔵前工業	1	1	1
	江北	1	1	1
	神代	1	1	0
	墨田工業	1	1	0
	第四商業	2	2	2
	多摩	2	0	0
	田園調布	2	2	1
	豊島	1	1	1
	光丘	1	1	1
	富士森	1	0	0
	府中西	1	1	1
	福生	2	2	2
	拝島	1	1	1
	足立新田	1	1	1
	武蔵野北	1	1	0
	田柄	1	1	1
	晴海総合	1	1	1
	大泉桜	3	3	0
	総合工科	2	1	1
新宿山吹	2	2	1	
葛飾総合	1	1	1	
東京家政学院	1	1	0	
芝	2	2	0	
正則	2	2	1	
東京女子学園	2	2	1	
保善	2	2	2	

都道府県名	高校名	志願	合格	入学	
東京都	東海大学付属望星	1	0	0	
	京華	5	5	3	
	京華商業	1	1	1	
	京華女子	2	2	1	
	京北学園白山	1	1	1	
	昭和第一	2	2	0	
	貞静学園	2	2	2	
	女子聖学院	6	3	2	
	駿台学園	3	1	1	
	聖学院	36	30	11	
	星美学園	1	0	0	
	成立学園	2	1	1	
	瀧野川女子学園	3	3	2	
	東京成徳大学	1	1	0	
	北豊島	3	3	1	
	日本大学第一	3	3	2	
	足立学園	1	1	1	
	愛国	1	1	1	
	関東第一	1	1	1	
	自由ヶ丘学園	2	1	1	
	東京学園	2	2	1	
	多摩大学目黒	1	1	1	
	日体荏原	1	0	0	
	松蔭	4	3	1	
	大東学園	1	1	1	
	玉川聖学院高等部	1	1	1	
	日本学園	2	1	1	
	日本工業大学駒場	1	1	0	
	実践学園	2	1	1	
	堀越	2	2	2	
	豊南	1	1	0	
	本郷	1	1	0	
	大東文化大学第一	4	3	1	
	東京家政大学附属女子	4	3	1	
	富士見	1	0	0	
	自由学園高等科	1	1	1	
	聖パウロ学園	1	1	1	
	昭和第一学園	1	1	0	
	白梅学園	1	1	1	
	日体桜華	1	1	1	
	日本放送協会学園	2	2	0	
	明星学園	2	0	0	
	立志舎	2	2	2	
	神奈川県	菅	1	1	0
		横須賀学院	1	1	1
		星槎	1	0	0
	新潟県	新潟西	1	1	1
		新発田農業	1	1	1
		三条東	1	1	0
		新潟東	2	2	1
		佐渡	1	1	0
		新潟産業大学附属	2	2	1
		新潟清心女子	1	0	0

都道府県名	高校名	志願	合格	入学
新潟県	敬和学園	6	6	6
	石川県	大聖寺	1	1
山梨県	アットマーク国際	1	1	1
	甲府南	2	2	0
長野県	巨摩	1	1	1
	日本航空	4	4	1
	小諸	1	1	1
	野沢北	1	0	0
静岡県	諏訪二葉	2	2	0
	創造学園	1	1	1
	さくら国際	4	2	2
	伊東	1	1	0
	掛川西	1	1	0
	浜松南	2	2	1
愛知県	大井川	1	1	1
	日本大学三島	1	0	0
	静岡北	1	1	1
三重県	浜松日体	1	1	0
	ルネサンス豊田	1	1	1
京都府	日生学園第一	1	1	0
	日生学園第二	2	2	0
奈良県	京都教育大学附属	1	1	0
	飛鳥未来	1	1	1
広島県	キリスト教愛真	1	1	1
	広島三育学院	2	0	0
山口県	小野田	1	1	1
	日本ウェルネス	1	1	1
福岡県	福岡大学附属大濠	1	1	0
	筑紫学園	2	2	0
宮崎県	都城農業	1	1	1
	鹿兒島県	屋久島おそら	5	4
沖縄県	真和志	1	1	1
	八重山	1	0	0
高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定		10	9	3
外国の学校等		1	1	1
		830	715	468

インターネット出願について

聖学院大学では、「AO入試〔講義型〕〔英語特別〕」「自己推薦入試」「一般入試」「特別入試(帰国生・編入学)」でインターネットによるエントリー／出願を導入しました。メリットは①事前の願書入手が不要、②出願期間内であれば24時間出願可能であることです(ちなみに、検定料納入が便利なコンビニエンスストア・クレジットカード等の振込は2014年度入試は150人が利用しました)。

インターネット出願件数(2014年度入試)

	政治経済	欧米文化	日本文化	児童	こども心理	人間福祉	計
AO講I	1	1	0	1	0	0	3
AO講II	0	0	1	1	1	0	3
AO講III	0	0	0	—	0	1	1
AO講IV	2	0	0	1	0	0	3
AO講V	3	0	2	2	0	0	7
自己推薦	0	0	0	0	0	0	0
一般A	1	4	8	6	5	5	29
一般B	1	3	2	5	1	2	14
一般C	7	1	2	8	4	2	24
一般D	3	0	0	0	1	2	6
一般E	5	1	3	—	0	1	10
その他*	0	1	0	0	0	0	1
計	23	11	18	24	12	13	101

*その他：英語特別・帰国生・編入学

特別入試

社会人入試

秋学期入試(2014年度)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、欧米文化学科、
日本文化学科、こども心理学科

エントリー受付 2014年4月1日(火)～7月30日(水)
①7月21日(月・祝)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、
エントリー許可を受けていること。
②7月30日(水)までに、エントリー時に必要な提出書類を提出できること。

審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2014年8月18日(月)～8月22日(金)	8月24日(日)	8月25日(月)～8月29日(金)

春学期入試(2015年度)

<AO方式[レポート]型>

全学部全学科で募集

エントリー受付 2014年8月1日(金)～2015年1月30日(金)[1月10日の事前相談による]

審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

面談[審査]日 面談Aの実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出(郵送必着)しなければなりません。面談Bの実施日は、面談Aで告知されます。いずれの場合も面談の開始時間は、エントリーカードや課題の到着後に連絡いたします。面談Aと面談Bの間にレポート等が課されます。面談は2回以上になります。

提出書類 エントリー時=エントリーカード・卒業証明書
出願時=入学願書・調査書・健康診断書

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2014年10月 6日(月)～10月 9日(木)	10月11日(土)	10月14日(火)～10月17日(金)
2014年11月10日(月)～11月13日(木)	11月15日(土)	11月17日(月)～11月20日(木)
2014年12月 8日(月)～12月11日(木)	12月13日(土)	12月15日(月)～12月19日(金)
2015年 1月 9日(金)～ 1月15日(木)	1月17日(土)	1月19日(月)～ 1月23日(金)
2015年 2月23日(月)～ 2月26日(木)	2月28日(土)	3月 2日(月)～ 3月 6日(金)

※AO入試は各学科とも定員になり次第、終了となります。

2013年度 秋学期入試(社会人入試)結果

学部	学科	エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	1	0	1	0	1	0
	欧米文化	0	0	0	0	0	0
人文	日本文化	0	0	0	0	0	0
	児童	0	0	0	0	0	0
人間福祉	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	0	0	0	0	0	0
合計		1	0	1	0	1	0

※募集定員は各学科若干名。

2014年度 春学期入試(社会人入試)のエントリー者はいませんでした。

※エントリー資格は各入試要項をご確認下さい。

帰国生入試

秋学期入試(2014年度)

<小論文・面接型>

政治経済学科、欧米文化学科、
日本文化学科、こども心理学科

出願期間 <郵送は下記期限内、インターネットの場合は7月2日(水)12時(正午)迄>
郵送 2014年6月2日(月)～7月2日(水) [必着]
窓口受付 7月2日(水)9:00～12:00

試験日 2014年7月5日(土)

審査方法 小論文、面接 ※再入学試験は基本的に面接のみ

合格発表 2014年7月8日(火)

手続期間 2014年7月8日(火)～7月15日(火)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、欧米文化学科、
日本文化学科、こども心理学科

エントリー受付 2014年4月1日(火)～7月30日(水)

①7月21日(月・祝)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、
エントリー許可を受けていること。
②7月30日(水)までに、エントリー時に必要な提出書類を提出できること。

審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2014年8月18日(月)～8月22日(金)	8月24日(日)	8月25日(月)～8月29日(金)

春学期入試(2015年度)

<小論文・面接型>

政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科

出願期間 <郵送は下記期限内、インターネットの場合は1月14日(水)12時(正午)迄>
郵送 2014年12月10日(水)～2015年1月14日(水)必着
窓口受付 2015年 1月14日(水)受付9:00～12:00

試験日 2015年1月17日(土)

審査方法 書類審査、小論文、面接

合格発表 2015年1月20日(火)

手続期間 2015年1月20日(火)～1月26日(月)

<AO方式[レポート]型> すべての学科で募集(内容は社会人入試と同様)

2013年度 秋学期入試(帰国生入試)結果

学部	学科	エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	0	0	0	0	0	0
	欧米文化	1	1	1	1	1	1
人文	日本文化	0	0	0	0	0	0
	児童	0	0	0	0	0	0
人間福祉	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	0	0	0	0	0	0
合計		1	1	1	1	1	1

※募集定員は各学科若干名。

2014年度 春学期入試(帰国生入試)志願者/エントリー者はいませんでした。

留学生入試

秋学期入試(2014年度)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科

- エントリー受付** 2014年4月1日(火)～7月30日(水)
 ①7月21日(月・祝)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、
 エントリー許可を受けていること。
 ②7月30日(水)までに、エントリー時に必要な提出書類を提出できること。
- 審査方法** 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間【必着】	合格発表日	手続期間
2014年8月18日(月)～8月22日(金)	8月24日(日)	8月25日(月)～8月29日(金)

春学期入試(2015年度)

<1日型>

政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、
 こども心理学科、人間福祉学科

- 出願期間**
- I期 2014年9月1日(月)～10月15日(水) 郵送【必着】
 2014年10月15日(水) 窓口受付9:00～12:00
- II期 2014年10月31日(金)～11月19日(水) 郵送【必着】
 2014年11月19日(水) 窓口受付9:00～12:00
- III期 2014年12月10日(水)～2015年1月14日(水) 郵送【必着】
 2015年1月14日(水) 窓口受付9:00～12:00
- IV期 2015年2月28日(土)～3月17日(火) 郵送【必着】
 2015年3月17日(火) 9:00～12:00

- 審査方法** 日本語能力試験(作文および漢字)60分
 面接(日本語試験合格者のみ)

試験日・合格発表日・手続期間

試験日	合格発表日	手続期間
I期:2014年10月18日(土)	2014年 10月21日(火)	2014年 10月21日(火)～10月31日(金)
II期:2014年11月22日(土)	2014年 11月26日(水)	2014年 11月26日(水)～12月5日(金)
III期:2015年1月17日(土)	2015年 1月20日(火)	2015年 1月20日(火)～1月26日(月)
IV期:2015年3月20日(金) (注意事項:募集状況次第で実施 しないことがあります。)	2015年 3月24日(火)	2015年 3月24日(火)～3月27日(金)

※エントリー資格は各入試要項をご確認下さい。

春学期入試(2015年度)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、欧米文化学科、日本文化学科、
 児童学科、こども心理学科、人間福祉学科

- エントリー受付** 2014年8月1日(金)～2015年1月30日(金)[1月10日の事前相談による]
- 審査方法** 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談
- 面談【審査】日** 面談Aの実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出(郵送必着)しなければなりません。面談Bの実施日は、面談Aで告げられます。いずれの場合も面談の開始時間は、エントリーカードや課題の到着後に連絡いたします。
 ※面談Aと面談Bの間にレポート等が課されます。面談は2回以上になります。
- 提出書類** エントリー時=エントリーカード・成績証明書・卒業証明書・日本留学試験(日本語試験)結果 他
 出願時=入学願書・健康診断書

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間【必着】	合格発表日	手続期間
2014年10月 6日(月)～10月 9日(木)	10月11日(土)	10月14日(火)～10月17日(金)
2014年11月10日(月)～11月13日(木)	11月15日(土)	11月17日(月)～11月20日(木)
2014年12月 8日(月)～12月11日(木)	12月13日(土)	12月15日(月)～12月19日(金)
2015年 1月 9日(金)～ 1月15日(木)	1月17日(土)	1月19日(月)～ 1月23日(金)
2015年 2月23日(月)～ 2月26日(木)	2月28日(土)	3月 2日(月)～ 3月 6日(金)

※AO入試は各学科とも定員になり次第、終了となります。

2013年度 秋学期入試(留学生入試)結果

学部	学科	志願者 エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	0	0	0	0	0	0
	欧米文化	0	0	0	0	0	0
人文	日本文化	1	1	0	0	0	0
	児童	-	-	-	-	-	-
人間福祉	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	-	-	-	-	-	-
合計		1	1	0	0	0	0

※募集定員は各学科若干名。児童学科・人間福祉学科では実施せず。

2014年度 春学期入試(留学生入試)結果

学部	学科	志願者 エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	39	13	32	9	29	9
	欧米文化	9	7	8	6	8	6
人文	日本文化	5	2	4	2	3	2
	児童	-	-	-	-	-	-
人間福祉	こども心理	3	1	3	1	3	1
	人間福祉	6	3	4	3	3	3
合計		62	26	51	21	46	21

※募集定員は各学科若干名

編入学試験

秋学期入試(2014年度)

<小論文・面接型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科

出願期間 <郵送は下記期限内、インターネットの場合は7月2日(水)12時(正午)迄>
郵送 2014年6月2日(月)~7月2日(水) [必着]
窓口受付 7月2日(水)9:00~12:00

試験日 2014年7月5日(土)

審査方法 小論文、面接

合格発表日 2014年7月8日(火)

手続期間 2014年7月8日(火)~7月15日(火)

<AO方式[レポート]型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科

エントリー受付 2014年4月1日(火)~7月30日(水)
①7月21日(月・祝)までのオープンキャンパスを含む事前相談にて、
エントリー許可を受けていること。
②7月30日(水)までに、エントリー時に必要な提出書類を提出できること。

審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

書類提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2014年8月18日(月)~8月22日(金)	8月24日(日)	8月25日(月)~8月29日(金)

春学期入試(2015年度)

<小論文・面接型>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科、こども心理学科、人間福祉学科

出願期間 <郵送は下記期限内、インターネットの場合は1月14日(水)12時(正午)迄>
郵送 2014年12月10日(水)~2015年1月14日(水) [必着]
窓口受付 2015年1月14日(水)受付9:00~12:00

試験日 2015年1月17日(土)

審査方法 書類審査、小論文、面接

合格発表 2015年1月20日(火)

手続期間 2015年1月20日(火)~1月26日(月)

<AO方式[レポート]型>

全学部・全学科で実施

エントリー受付 2014年8月1日(金)~2015年1月30日(金)
児童学科のみ2014年9月1日(月)~11月25日(火)

審査方法 面談方式=レポート・資料・課題等の提出による面談

面談[審査]日 面談Aの実施日時は、エントリー者に別途連絡します。ただし、面談を受けるには、面談実施予定日の3日前までにエントリーカードを提出(郵送必着)しなければなりません。面談Bの実施日は、面談Aで告げられます。いずれの場合も面談の開始時間は、エントリーカードや課題の到着後に連絡いたします。面談Aと面談Bの間にレポート等が課されます。面談は2回以上になります。

提出書類 エントリー時=エントリーカード・成績証明書・卒業証明書 他
出願時=入学願書・健康診断書

※エントリー資格は各入試要項をご確認下さい。

願書提出(出願)期間・合格発表日・手続期間

願書提出(出願)期間 [必着]	合格発表日	手続期間
2014年10月 6日(月)~10月 9日(木)	10月11日(土)	10月14日(火)~10月17日(金)
2014年11月10日(月)~11月13日(木)	11月15日(土)	11月17日(月)~11月20日(木)
2014年12月 8日(月)~12月11日(木)	12月13日(土)	12月15日(月)~12月19日(金)
2015年 1月 9日(金)~ 1月15日(木)	1月17日(土)	1月19日(月)~ 1月23日(金)
2015年 2月23日(月)~ 2月26日(木)	2月28日(土)	3月 2日(月)~ 3月 6日(金)

※AO入試は各学科とも定員になり次第、終了となります。

<トランスファー制度>

政治経済学科、コミュニティ政策学科、
欧米文化学科、日本文化学科

出願資格 海外の大学・短期大学のAssociate of Arts(AA) degreeを取得していること

出願期間 インターネット: 2014年8月1日(金)~2015年3月5日(木)12時(正午)迄
窓口: 2014年3月6日(金)受付9:00~12:00窓口受付希望者は事前の連絡が必要です。

審査方法 書類審査、(インターネット及び電話でのインタビューを行う場合もある)

出願書類 入学願書・志望理由書(日本語・600~800字)・
Reference(Recommendation)
Transcript・学位取得証明書(AA degree)・健康診断書
※検定料の取納に関しては、出願確認後、大学から連絡いたします。

合格発表 随時

手続期間 大学指定期間(合格発表通知後約1ヵ月以内を予定)
※4年制大学・短期大学において、1年以上の修了者で、31単位以上を取得している方、または取得見込みの方は、編入学試験(<春学期入学:小論文・面接型>
<AO方式>)をご確認ください。

2013年度 秋学期入試(編入学試験)結果

学部	学科	志願者 エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	2	0	2	0	2	0
人文	欧米文化	0	0	0	0	0	0
	日本文化	0	0	0	0	0	0
	児童	0	0	0	0	0	0
人間福祉	こども心理	1	1	1	1	1	1
	人間福祉	0	0	0	0	0	0
合計		3	1	3	1	3	1

※募集定員は各学科若干名。

2014年度 春学期入試(編入学試験)結果

学部	学科	志願者 エントリー	内女子	合格者数	内女子	入学者数	内女子
政治経済	政治経済	5	3	5	3	5	3
人文	欧米文化	2	2	1	1	1	1
	日本文化	2	2	2	2	2	2
	児童	0	0	0	0	0	0
人間福祉	こども心理	0	0	0	0	0	0
	人間福祉	0	0	0	0	0	0
合計		9	7	8	6	8	6

※募集定員は各学科若干名。

入学前スタートアップ講座

英数国講座

本来高等学校卒業までに修得しておくべき教育内容を確認し、補う授業です。また、大学で学ぶ土台づくりにも、就職活動にも必要となる内容です。

大学の90分授業に慣れる、友だちができる、などのメリットもあります。

入学予定で、希望者を対象に、11日間スクーリング形式で実施。国語、英語、数学の3教科を8コマずつ受講します。「文系国語表現力基礎」では、小論文作成・添削、「基礎数学完成」では、就職試験にも出る分野や実社会にでもよく使う分野を中心に学びます。「基礎英語」では、英語講読・リスニングを基礎から取り組んでいきます。また3教科以外にも、自己紹介のプレゼンテーション、スペシャルプログラムなどを実施、聖学院大学で充実した4年間を過ごすためのプログラムを展開しています。

2014年度実施日程

2月講座

2月5日(水)～7日(金)、10日(月)、12日(水)、13日(木)、17日(月)～21日(金)・・・11日間 / 受講料・・・20,000円

3月講座

3月4日(火)～7日(金)、10日(月)、11日(火)、13日(木)、14日(金)、17日(月)～19日(水)・・・11日間 / 受講料・・・20,000円

楽しく英語講座 English Time

高等学校で学んだ基礎英語からステップアップするプログラム。入学後に始まるネイティブスピーカーによる聖学院英語教育プログラム[ECA Speaking]のよい準備となる講座です。

楽しく英語講座では、実際の日常生活の英語を実践。ゲームや自己紹介、また英語でアーティストや歌について学ぶことで、友達やクラスメイトと英語でコミュニケーションし、英語に慣れ親しむことを目的としています。

2014年度実施概要

2月24日(月)～28日(金)・・・5日間 / 受講料・・・10,000円

入学前スタートアップ講座受講状況

受講生数

	英数国			楽しく英語		実受講者数計
	2月	3月	小計	2月	計	
2010年	140	71	211	47	258	232
2011年	111	72	183	55	238	206
2012年	115	84	199	70	269	226
2013年	99	99	198	37	235	207
2014年	75	102	177	43	220	190

入試別受講率(英国数講座のみ)

入試	推薦	AO	自己推薦*	一般A	一般B	その他
2010年	90名	65名	17名	24名	13名	2名
	52%	38%	50%	42%	27%	—
2011年	71名	78名	—	17名	11名	6名
	55%	86%	—	35%	28%	—
2012年	83名	90名	—	15名	8名	3名
	42%	45%	—	8%	4%	—
2013年	96名	82名	—	17名		3名
	48%	40%	—	8%		—
2014年	90名	64名	—	23名		—
	51%	36%	—	13%		—

※2011年度より自己推薦はその他にまとめて集計